



## 私のいちおし本

### 「ある日、戦争がはじまった 12歳のウクライナ人少女イエバの日記」

イエバ・スカリエツカ 著



#### 選者：文化センター 多田 愛美

この本は、2022年2月24日に始まった、ロシアによるウクライナ侵攻により、生まれ育った国を離れなければならなくなった少女・イエバさんによって綴られました。イエバさんはかつて、ウクライナ北東部の都市・ハルキウで暮らしていました。学校や友だちが大好きで、美しいハルキウの街がお気に入りでした。しかし、その日常と素敵な場所は、突然始まった攻撃で、無残にも破壊されてしまったのです。

現在、イエバさんは、アイルランドの首都ダブリンに身を寄せています。この本には、イエバさんとその家族が、ロシアからの攻撃を逃れ、長い旅路を経て、ダブリンにたどり着くまでの記録が書かれた、【戦争日記】と呼べる1冊です。

爆撃音に怯えて震え、家族と一緒に地下シェルターに避難する様子や、SNSを使い、友人と戦況を伝え合うなどの場面が、10代のイエバさんの言葉で、ありありと記されています。

読み終わったあと、私は、一刻も早く戦争が終わり、イエバさんやウクライナの人々が家に帰れますようにと、祈らずにいられませんでした。

## 今月の新刊

### 【銀河アリーナ図書室】

【一般】

**カラフルな魔女  
角野栄子の物語が生まれる暮らし**  
KADOKAWA 監修



角野栄子。世界的児童文学作家。88歳。栄子さんの毎日のはんだか楽しい。朝はだいたい8時起き。ちょっぴり手抜きもあるけれど、自分が食べたい朝ごはんを作って食べ、夕方まで執筆。仕事が終わるとお散歩に出かける。鎌倉の海で、とんびに話しかけたり、手帳に絵を描いたり。まるで遊ぶように、でも大切に暮らす日々。「Eテレの人気番組が映画になりました」そのすべてが詰まった写真満載のオールカラー公式ガイドブック。

【児童】

**100ぴきかぞくゆうえんちへいく**  
古沢 たつお さく



100ぴきのねこのかぞくが、遊園地にやってきました。乗り物に乗ったり、ショーを見たり、お弁当を食べたり…。それぞれ違った個性をもつねこたちがかわいい、探し絵も楽しめる絵本。

その他の新刊

【一般】**強運習慣 100**

中園ミホ 著

**東京都同情塔**

九段 理江 著

【児童】**カチコチれいぞうこだいさくせん**

ユン・ジョンジュ 文・絵

**下水道のサバイバル1**

ポドアルチング 文／韓賢東 絵

### 【文化センター図書室】

【一般】

**風に立つ**

柚月 裕子 著



家庭裁判所に送られてきた少年を預かる補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の父・孝雄。父の行動に戸惑う悟。少年と工房で共に働くうち、悟の心にも少しずつ変化が訪れて…。

【児童】

**ルビーの一步  
私たちすべての問題**

ルビー・ブリッジズ 著



1960年、白人専用の小学校に全米初の黒人生徒として入学したルビー。どなり、さけび、おどし、ものを投げつける人びとのなかを登下校し…。勇気を出して、人種差別に立ち向かった6歳の少女からの「平和の手紙」。

その他の新刊

【一般】**秘密の花園**

朝井 まかて 著

**キャンプ気分ではじめるおうち防災チャレンジBOOK**

鈴木 みき 著

【児童】**ポッポ一きかんしゃはなさんぽ**

とよたかずひこ 著

**石は元素の案内人**

田中 陵二 文・写真